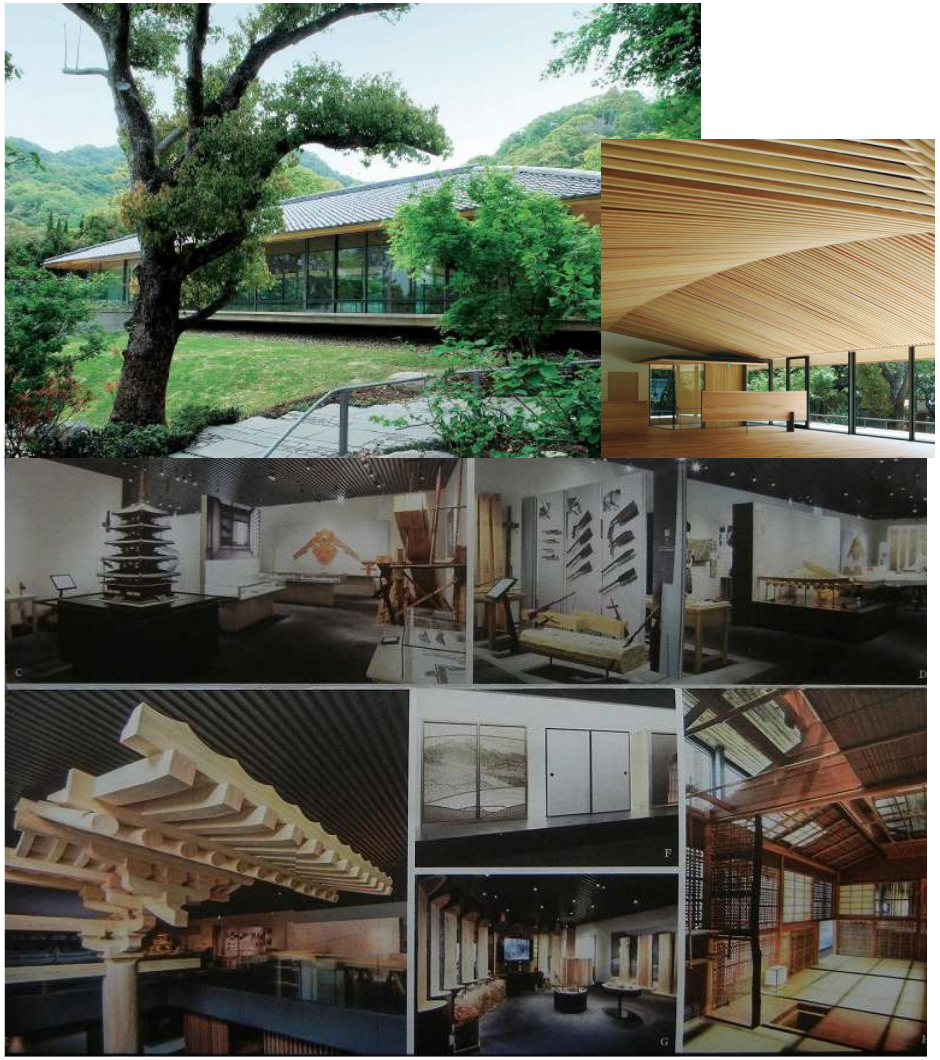
大工道具の歴史を展示する大工道具博物館
昨秋新神戸駅横にオープンした

「竹中大工道具館」

竹中大工道具館

2014
10/4
sat
open
至新大阪
JR 山陽新幹線　新神戸駅
至姫路
シティ・
ループバス
ジークレフ
新神戸タワー
竹中大工道具館
ANA
クラウンプラザ
ホテル神戸
北出口2
生田川
南出口
北野異人館
方面
原田線
神戸芸術センター

大工道具の歴史を展示する大工道具博物館
昨秋 新神戸駅横にオープンした
「竹中大工道具館



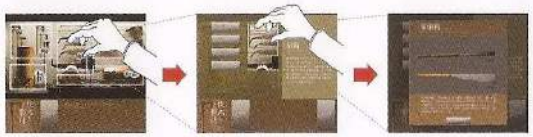
神戸市中山手にあった日本で唯一の大工道具の専門博物館「竹中大工道具館」。 施設の老朽化や展示・収蔵スペースの不足等を解消するため、昨年10月、新神戸駅のすぐ南東　六甲・布引の緑豊かな地に新神戸駅前の緑豊かな地に移転オープンした。
これまで展示しきれなかった収集品　3万点余りの中から、選りすぐった約1千点の大工道具を中心に、大工道具の歴史と匠の技を展示する大工道具博物館。 吹き抜け空間には、高さ7メートルを超える原寸大の唐招提寺金堂の柱と組物など現代の匠たちの手による最高の職人技を詰め込んだ特別な模型も展示され、大工道具を駆使した匠の技がそっくりそのまま見られる。
　また、縄文から現代まで　木材加工の大工道具とそれを使った匠の数々の木材加工の技が実寸展示されるとともに、モニターには実際の加工映像が目の前のモニターに映し出され、実に面しろい。
　縄文の巨木が石斧で切り倒される技　それが板や柱に切り分けられる技に継ぎ手・木組み加工　そして鉋で削られた透き通るほど薄いカンナくずや鋸も面白い。
ふっと　鑿や鉋の素材はたたら製鉄の玉鋼と地鉄の組合わせが可能にしても　あの薄い鋸歯は無理か?と思いましたが、やっぱり玉鋼と地鉄の古来の鍛冶技術。現在はほぼ「安来鋼」に置き換わっていると。これも伝統の製鉄技術である。
また、六甲連山の緑をバックにした広い日本庭園の中に調和して、竹中の現代技術の粋を集めた日本風建築の展示館が建っている。木の香りが漂う落ち着いた空間の中で　ゆっくりと展示を楽しめるのもうれしい。
和風の門をくぐり、展示館1階の広い空間の椅子に座ってゆっくり周囲を眺めているだけでも楽しい。
大きくはないが、我々にはうれしいお勧めの大工道具博物館である。

展示品と来館者の距離を縮める解説システム

□ 見たままナビ

「見たままナビ」とは、より詳しく知りたい資料の情報が一目でわかるタッチパネル式の解説ツールです。展示レイアウトをそのまま画面で再現していますので、知りたい資料をタッチするだけで映像や写真の入った解説画面が現れます。2F・3Fの重要ポイントに設置されています。

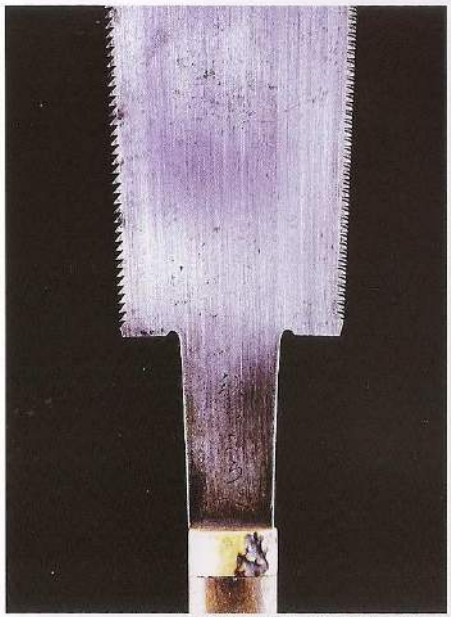
- **見たままナビ第1画面**
  ご覧になりたい資料のグループをタッチ。
- **第2画面**
  個別の名称が現れます。
  ご覧になりたい資料をタッチ。
  「前に戻る」ボタンを押すと第1画面に戻ります。
- **第3画面**
  資料に関する解説や映像がご覧になれます。
  「閉じる」ボタンを押すと第2画面に戻ります。



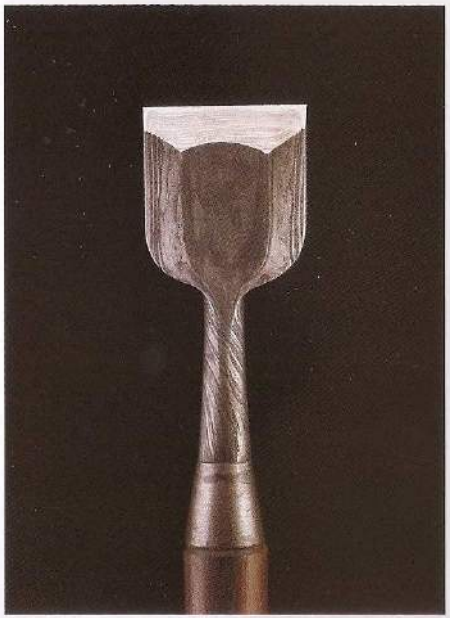
□ ビデオライブラリー

大工道具を伝えていくにはモノの保存だけではなく、使い方や作り方もあわせて残すことが大切です。当館ではこれら無形の技を映像として記録し、50作品以上を館内で公開しています。各階展示の他に、団体利用者にはB1F多目的ルームにて、個人利用者はB1Fライブラリーにてご希望の映像をご覧になることができます。

映像作品「鉋の歴史」



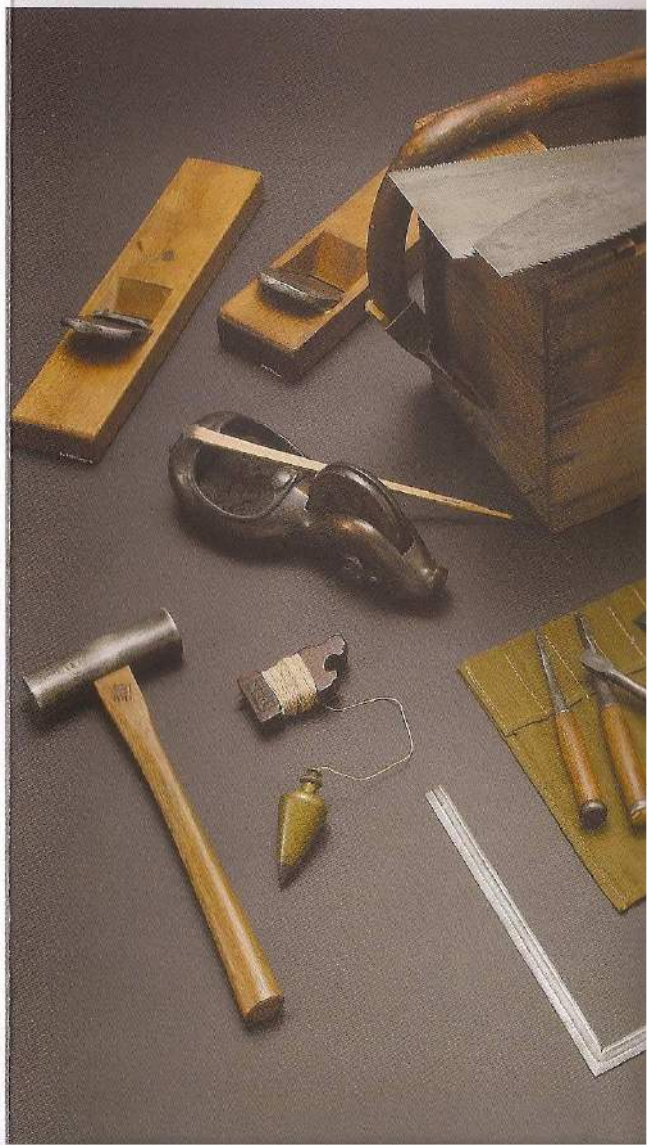
八寸両刃鉋　播州三木　二代目 宮野鉄之助 昭和25年



寸六大入鑿　大阪　三代目 善作　昭和初期

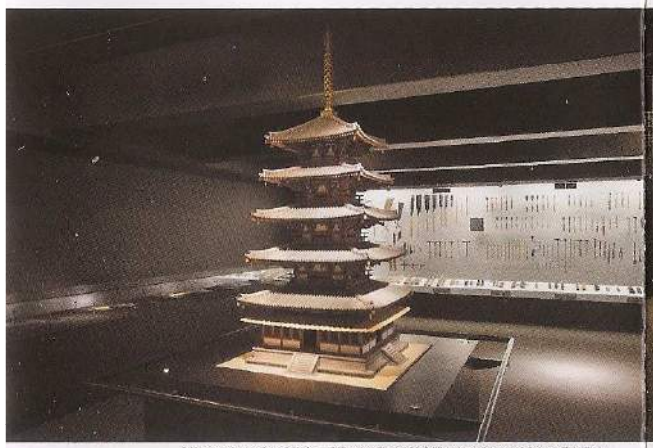
財団法人 竹中大工道具館
TAKENAKA CARPENTRY TOOLS MUSEUM

展示概要 | OUTLINE OF THE EXHIBITION



1F 極める To Master

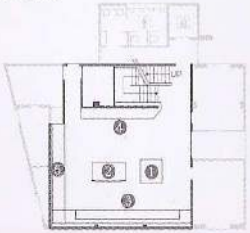
「用を極め、美に至る」
機能を超えて、輝きを放つ道具たち。



当館のシンボルである法隆寺五重塔。その後には最盛期の大工道具179点と名工品を展示。

大工は、職人気質（かたぎ）といわれるように、仕事の質にかかわる道具については並々ならぬこだわりをもってきました。鍛冶も大工の心意気に応じようと、心を込めて優れた道具をつくり出してきました。
このフロアでは職人たちが自らの道を極めて生み出した数々の道具を紹介します。
中央には当館のシンボルとして宮大工が自己研鑽のために構造もそのままに作り上げた法隆寺五重塔模型を設置。両脇の展示台では名工が鍛え上げた美しい輝きを放つ道具が間近にご覧になれます。正面奥では最盛期の大工道具一式179点をすべて揃えた壁面展示を用意しました。

鉋刃「神宗夢」千代鶴是秀



❶ 法隆寺五重塔 ❷ 貞柿の無垢板 ❸ 名工が鍛えた道具
❹ 企画展示コーナー ❺ 大工道具の標準編成

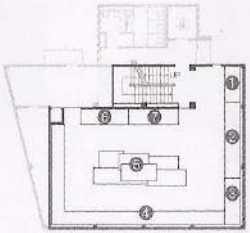
江戸鑿の鞘　千代鶴是秀

2F 造る Construct

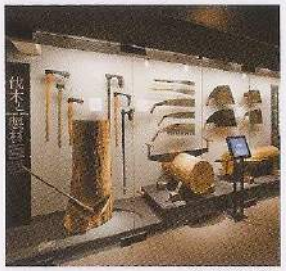
木で建築を造る大工の技。鉄で道具を作る鍛冶の技。

「木を組む」と「手仕事と道具」の展示。道具の使い方が模型と見たままナビで理解できます。

「木の建築はどのように造られているのか」がテーマです。山から木を伐りだして材木に製材する職人が使う大型の道具を手始めに、大工が部材の荒加工から仕上げに至るまでに使う一連の道具を詳しく解説しています。各コーナーでは道具の使い方と作り方が模型や映像で直感的に理解できます。
中央の展示台にはさまざまな木組みや仕上げの見本を展示しました。後半には大工と鍛冶の実際の作業風景が分かりやすくイメージできる仕事場再現コーナーを用意しました。



❶ 日本の樹 ❷ 伐木と製材 ❸ 設計と用材
❹ 手仕事と道具 ❺ 木を組む
❻ 鍛冶の仕事場 ❼ 大工の仕事場



伐木と製材の道具

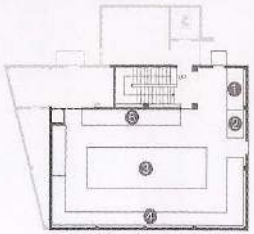
鍛冶の仕事場

3F 伝える Hand Down

道具の歴史を振り返る。世界の道具と見比べる。

「道具の歴史」コーナー。中央では大型模型と見たままナビで重要ポイントが理解できます。

「道具はどのように伝えられてきたのか」をテーマに、日本における道具の発達史をトピックごとに振り返ります。日本建築史を背景に、時代を代表する建築と、それを造るために使われた道具の復元品や実物を対比的に紹介しています。また中央には歴史のターニングポイント（転換点）を直感的に理解できる迫力の大型模型を設置しました。後半は視野を海外に広げ、アジアやヨーロッパの道具と比べながら形や使い方にどのような共通点や違いがあるのかを、世界でも有数のコレクションを使って解説します。



❶ ガイダンス映像 ❷ 建築工人の世界
❸ 歴史の転換点 ❹ 道具の歴史
❺ 海外の道具

中国の道具

ヨーロッパの道具

竹中大工道具館 新館
展示場はBF1 & BF2

竹
雲夢
A
B
C
D
F
G
H

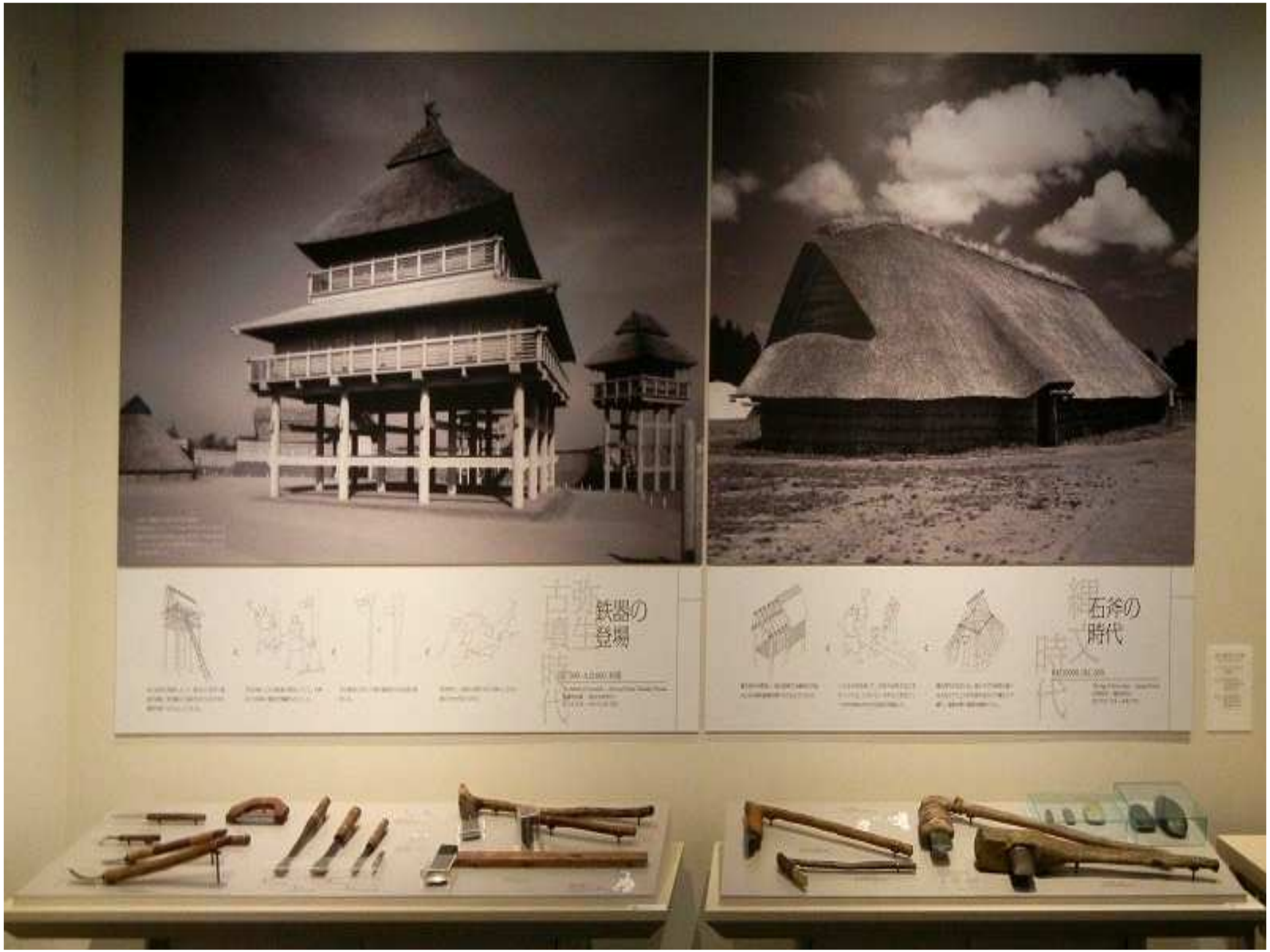
7つのコーナーに分かれた展示を通して大工道具の魅力をお伝えします。大工道具の歴史や種類、しくみを紹介する「歴史の旅へ」「道具と手仕事」「世界を巡る」、道具や手仕事の美を感じていただく「名工の輝き」「和の伝統美」。ものづくりの心を棟梁の仕事を通して伝える「棟梁に学ぶ」。貴重な森の恵みを生かす伝統の知恵の数々を見ていただく「木を生かす」。選りすぐりの資料約1,000点や、現代の匠の職人技が詰め込まれた迫力の実物大模型、五感に響くハンズオン展示で、道具を身近なものとして楽しく理解していただけます。

日本の道具はおもしろい。

知っていました?
この曲尺　表1に対して裏は1．414倍(√2)の目盛。この曲尺の表裏の目盛を使って、正確に丸太断面から切り出せる角材の寸法が簡単に割り出せる。また、屋根の勾配なども簡単に割り出せるという。

石斧で大木を切り、丸太を割る

すでに縄文時代にそんな技術があった


鉄器の
登場
石斧の
時代

実証　石斧で大木が切れる

くさびで丸太が真っ二つ
きれいに割れる!!

鋸がない時代　板を作るのは大変!!

唐招提寺金堂の柱と組物

規矩術を修める：
二軒隅組模型
木を刻む:加工途中の唐招提寺金堂部材

仕事場
木目組

ドイツ 壁模型（縮尺 2/3）

Model of Wall Constructed in Germany (Scale 2/3)

ヨーロッパの代表的な木骨造建築である
エスリンゲン市庁舎（1430年建立）。
柱梁上層間に筋違を組合せた軸組を繰返し、
特徴的な意匠をつくり出している。

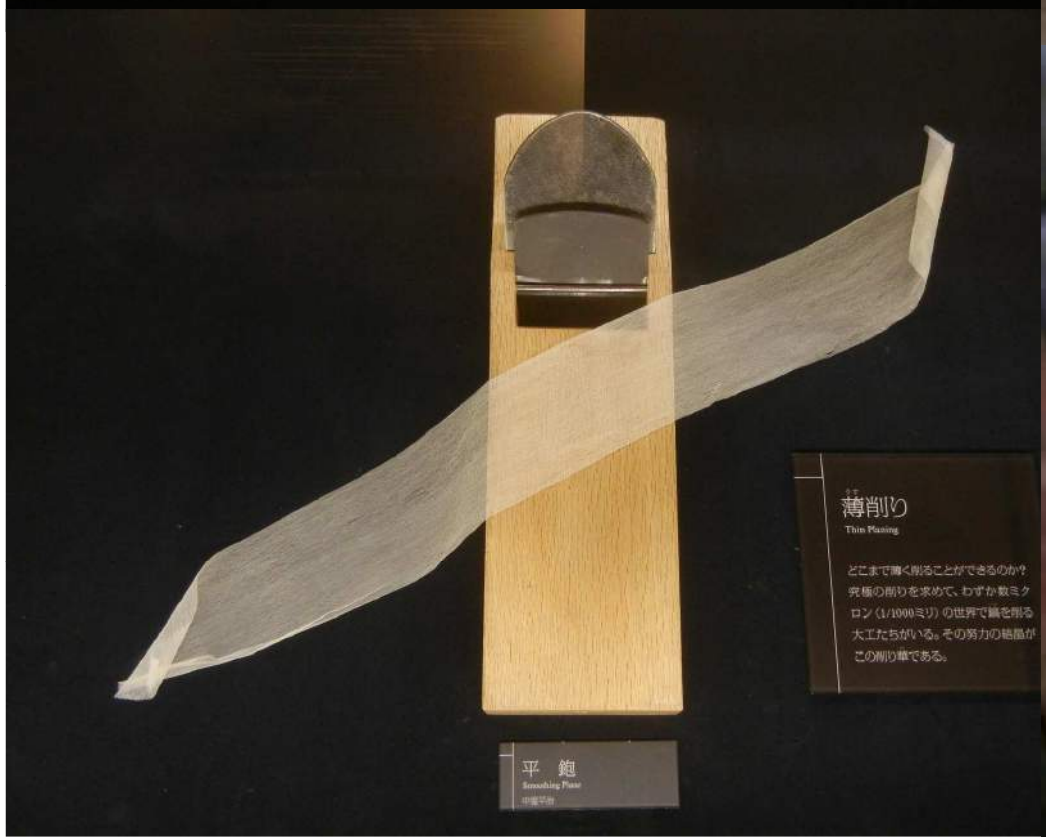
ヨーロッパの道具

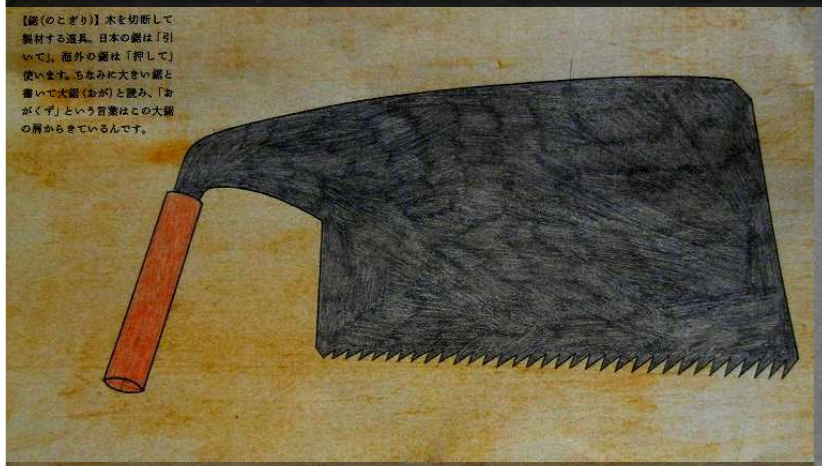
木を生かす

樹から材へ:伐木製材道具

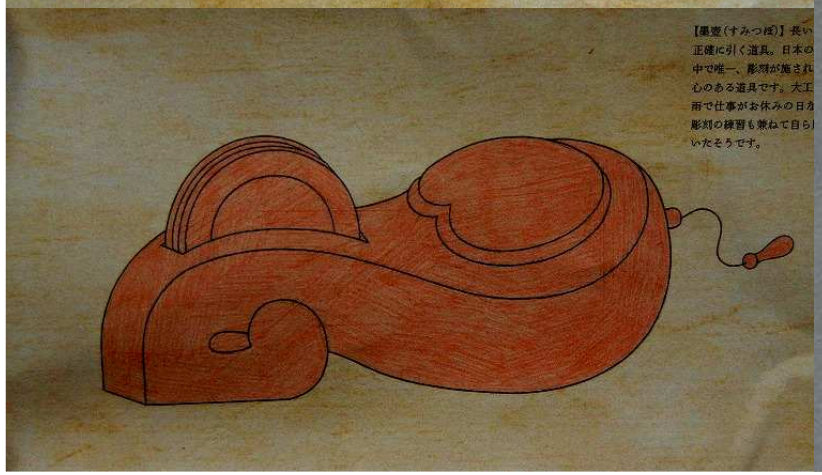
鉋

大 鉋


薄削り
Thin Planing
どこまで薄く削ることができるのか？
究極の削りを求めて、わずか数ミクロン（1/1000ミリ）の世界で鏡を削る
大工たちがいる。その努力の結晶が
この削り草である。
平 鉋
Smoothing Plane



【鋸（のこぎり）】木を切断して製材する道具。日本の鋸は「引いて」、海外の鋸は「押して」使います。ちなみに大きい鋸と書いて大鋸（おが）と読み、「おがくず」という言葉はこの大鋸の屑からきているんです。



【墨壺（すみつぼ）】長い正確に引く道具。日本の中で唯一、彫刻が施され心のある道具です。大工雨で仕事がお休みの日彫刻の練習も兼ねて自ら いたそうです。

EXHIBITION

「日中韓 棟梁の技と心」展 神戸会場の様子

竹中大工道具館開館30周年記念巡回展

日中韓
棟梁の技と心

東京・神戸でご好評いただいた巡回展、最後の地
では、日中韓の各国を代表する三人の棟梁が手がけた
型や大工道具、設計図などが一堂に会し、それぞれの「匠の
ろ」を際立たせます。あわせて講演・実演イベントも開催いたします。
ヶ国の棟梁の技が集う貴重な機会ですので、ぜひご来場ください。

名古屋会場

2015年1月17日［土］～3月1日［日］
トヨタ産業技術記念館　特別展示室

名古屋市西区則武新町4-1-35　TEL 052-551-6115
名鉄　名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分

開館時間　9:30～17:00（入場は16:30まで）
休 館 日　月曜日（祝日の場合は翌日）
入 場 料　無料（常設展は別途入場料が必要）

記念イベント

講演会
「の建築技術と意匠－中国・韓国との比較から－」
介（東京大学教授）
25日（日）13:30～15:00
会館ホールA
名不要）

定員

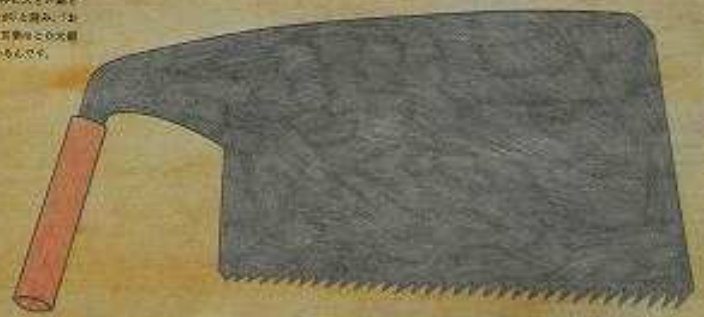
＊展示やイベント
者は「日中韓 棟梁の
い。公式HP http://www

主催　公益財団法人竹中大工道具館、名古屋
共催　トヨタ産業技術記念館
企画　公益財団法人竹中大工道具館、名古屋
後援　外務省、中華人民共和国駐大阪総領事館
駐日韓国大使館 韓国文化院

7つのコーナーに分かれた展示を通して大工道具の魅力をお伝えします。大工道具の歴史や種類、しくみを紹介する「歴史の旅へ」「道具と手仕事」「世界を巡る」、道具や手仕事の美を感じていただく「名工の輝き」「刃の伝統美」、ものづくりの心を棟梁の仕事を通して伝える「棟梁に学ぶ」、貴重な森の恵みを生かす伝統の知恵の数々を見ていただく「木を生かす」、選りすぐりの資料約1,000点や、現代の匠の職人技が詰め込まれた迫力の実物大模型、五感に響くハンズオン展示で、道具を身近なものとして楽しく理解していただけます。

日本の道具はおもしろい。

「鋸のにがり」は木を切断して解体する道具。日本の鋸は「引いて」、海外の鋸は「押して」使います。もちろん大きな鋸も曲がって大鋸（おが）と呼ん「おがくず」という言葉はこの大鋸の鋸からきているんです。



大工道具の歴史を展示する大工道具博物館
昨秋新神戸駅横にオープンした
「竹中大工道具館

お勧めの心地よい博物館です　by Mutsu Nakanishi